

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23224005	研究期間	平成23年度～平成26年度
研究課題名	広視野多天体分光・面分光で探る銀河形態の起源	研究代表者 (所属・職)	有本 信雄 (国立天文台・ハワイ観測所・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究では、すばる望遠鏡用近赤外線装置 MOIRCS に面分光機能を付加し、検出器を更新することにより、遠方銀河の金属量と内部ガス運動を観測し、銀河の形態の起源に迫ることを目的とする。本装置が完成した後の科学的検討については順調に進んでいるが、開発を担当する人材の不足と MOIRCS 本体の保守作業の必要性により装置開発が遅れている。しかし、その改善策は十分に検討されている。</p> <p>すばる望遠鏡の主力共同利用赤外線装置でもある MOIRCS の機能向上は、銀河研究のみならず、天文学の広い分野にとって重要である。今後の努力により、研究期間内に2つの機能向上を完了し、早期の科学的成果を上げることが望まれる。</p>	